

〈参考資料〉

1 実態把握のための調査

(1) 市民アンケートの概要

ア 調査の名称

横浜市子ども・若者のいる世帯の生活状況及び就業に関する調査

イ 調査の目的

本市において、相対的貧困²⁵の状況にある世帯（国の貧困線の水準を下回る世帯）で生活する子どもの推計に必要な情報（世帯人員数、所得の水準等）を把握すること、ならびに、各世帯における生活の様子や物質的剥奪²⁶の状況、保護者や子ども・若者の健康状態、就業の状況等を把握し、「貧困」の状態にあると考えられる方の状況を様々な観点から分析することを目的に、アンケート調査を実施した（以下、「市民アンケート」と表記）。

ウ 調査実施方法等の概要

市民アンケートは、平成27年4月1日現在で、年齢が0歳から24歳未満の子ども・若者がひとり以上いる世帯のうち、6,000世帯を対象にして実施した。アンケート調査票を対象となる各世帯に郵送で配布し、同封の返信用封筒にて返送いただいた。調査期間は平成27年8月7日から8月24日までとし、期間中に1回、御礼状兼督促状の発送を行った。

なお、調査対象の子ども・若者が保護者の方と住居と生計を共にしている場合には保護者に回答していただき、ひとり暮らしをしている場合や自ら生計を立てている方の場合には、子ども・若者本人に回答いただくようにした。

エ 調査票の回収状況

有効回答数、有効回答率は以下の通りである。

配布数	有効回答数	有効回答率
6,000	2,657	44.3%

²⁵ 「相対的貧困」とは、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない状況にあることを指す。なお、「等価可処分所得」とは、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得をいう。「貧困線」とは、等価可処分所得の中央値の半分の額をいう。（厚生労働省「国民生活基礎調査」より）

²⁶ 「物質的剥奪（material deprivation）」とは、貧困の状態について、「金銭的な」または「インプット」側の指標ではなく、「非金銭的な」「アウトプット」側の側面に着目した際に用いられる概念・用語であり、社会において最低限必要な物が得られていない状況をいう。（OECD「Growing Unequal? INCOME DISTRIBUTION AND POVERTY IN OECD COUNTRIES」(2008)より）

オ 調査内容

「経済的貧困の状況」、「社会的排除・剥奪の状況」、「住まいの状況」、「就業の状況」、「健康状態」、「子どもが置かれている生活環境（基本的生活習慣）」、「子どもが置かれている学習・進学に関する環境」、「貧困の背景、貧困の連鎖」、「必要としている支援」

(2) 支援者ヒアリング・対象者アンケートの概要

ア 調査の目的

本市において生活に困窮していると想定される子どもや家庭の様子について把握することを目的に、日ごろから困難を抱える子どもや家庭への支援に関わっている、区役所職員や施設等の職員、学校の教員や NPO 法人等に対し、ヒアリング調査を実施した（以下、「支援者ヒアリング」と表記）。

また、本市において生活に困窮していると想定される子どもや家庭の様子を把握し、さらに、必要とする支援策等について直接的にご意見を伺うことを目的に、生活保護、児童扶養手当を受給している世帯等、本市の事業の利用者を対象としたアンケート調査を実施した（以下、「対象者アンケート」と表記）。

イ 調査実施方法等の概要

「支援者ヒアリング」「対象者アンケート」のそれぞれについて、以下のような方法にて実施した。

① 支援者ヒアリング

以下の対象に対して、それぞれ横浜市職員、ならびに浜銀総合研究所研究員が複数名で訪問の上、2 時間程度の時間でヒアリングを実施した。

	分類	ヒアリング対象	訪問・実施日
1	区役所	西区子ども家庭支援課・生活支援課	6月23日
2		鶴見区生活支援課	6月22日
3	児童相談所	中央児童相談所	6月30日
4	児童家庭支援センター	横浜型児童家庭支援センター むつみの木	8月24日
5	乳児院	久良岐乳児院、 横浜婦人クラブ愛児園（デュナミス）	6月29日
6		白百合ベビーホーム	7月7日
7	母子生活支援施設	横浜市母子生活支援施設 みどりハイム	6月24日
8	ひとり親支援	横浜市母子家庭等就業・自立支援センター 受託法人 一般財団法人 横浜市母子寡婦福祉会	6月30日
9	児童養護施設	旭児童ホーム	6月25日
10		三春学園	8月28日

	分類	ヒアリング対象	訪問・実施日
11	保育所	市立保育所	6月19日
12	学校関係者	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	6月22日
13		東部学校教育事務所	7月16日
14	高校	定時制高等学校	6月26日
15	寄り添い型学習等支援	瀬谷区支えあい家族支援事業受託法人 特定非営利活動法人ワークーズわくわく	6月18日
16	困難を抱える子ども・ 若者の自立支援	K2インターナショナルグループ	9月7日
17	外国籍の子どもに 対する支援	なか国際交流ラウンジ	9月18日

② 対象者アンケート

a 調査の名称

横浜市子どもがいる世帯の生活状況等に関する調査 保護者向け調査
 横浜市子どもがいる世帯の生活状況等に関する調査 中学生・高校生向け調査
 横浜市子どもがいる世帯の生活状況等に関する調査 中学生・高校生向け調査
 (児童養護施設入所者向け調査)

b 実施方法等

対象者アンケートは、生活保護を受給している世帯、児童扶養手当を受給している世帯、寄り添い型学習等支援事業を利用している世帯の保護者ならびに中学生・高校生、児童養護施設で生活する中学生・高校生を対象に、以下のような調査方法で実施した。回答は、同封の返信用封筒にて返送いただいた。

利用事業	調査票種類	対象者の属性	配布数	配付方法等	調査期間
生活保護	保護者	未就学～18歳未満の子どもがいる世帯	360	市から郵送にて送付	8月10日から8月28日
	中学生・高校生	中学生・高校生	180	上記保護者向けの調査票の中に同封	
児童扶養手当	保護者	未就学～18歳未満の子どもがいる世帯	360	区のこども家庭支援課窓口にて配付	8月10日～8月18日の期間に各区の窓口で配布。8月28日まで
	中学生・高校生	中学生・高校生	360	上記保護者向けの調査票の中に同封	
寄り添い型学習等支援事業	保護者	利用者	545	利用施設を通じて配付	8月10日から8月28日
	中学生・高校生	利用者(中学生)	462	上記保護者向けの調査票の中に同封	
児童養護施設	中学生・高校生	中学生・高校生	194	利用施設を通じて配付	8月10日から8月28日

③ 対象者アンケートの回収状況

各アンケート調査の配布数ならびに有効回答数は次の通りである。なお、児童養護施設入所者向けの調査についても中学生・高校生を対象にしたものであるが、一部他の対象に対する調査票とは異なる設問で調査をしていることから、児童養護施設入所者向けの調査については、単独で集計した。

調査種類	配布数	有効回答数	有効回答率
保護者向け調査	1,265	212	16.8%
中学生・高校生向け調査	1,002	120	12.0%
児童養護施設入所者向け調査	194	138	71.1%

ウ 調査内容

① 支援者ヒアリング

「保護者の特徴・課題等」「子どもの特徴・課題等」「制度・連携の仕方等に関する課題等」

② 対象者アンケート

「保護者向け調査」では、「世帯の経済状況」、「社会的排除・剥奪の状況」、「住まいの状況」、「就業の状況」、「健康状態」、「子どもが置かれている学習・進学に関する環境」、「必要としている支援」等について調査を行った。

「中学生・高校生向け調査」「児童養護施設入所者向け調査」では、「基本的生活習慣の状況」、「健康状態」、「学校・学習・進学に関する状況」、「悩んでいること、相談したいこと」等について調査を行った。

横浜市 子ども・若者のいる世帯の生活状況及び就業に関する調査 調査票

< 調査ご協力のお願い >

みなさまには、日ごろから横浜市政へご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、子育てしやすい環境づくりと子ども・青少年の健やかな成長のため、保育所待機児童対策や学齢期の放課後の居場所づくりの充実、地域の親子や青少年の居場所づくりや、区役所などでの子どもや子育て家庭に対する相談・支援体制の充実に取り組んでいます。

一方で、国の調査によれば、我が国の子どもの貧困率は16.3%（2012年）となり、先進国の中でも厳しい状況となっています。また、生活保護を受給している世帯のお子さんの高等学校等進学率は全体と比較して、低い状況があるなど、家庭の経済状況がお子さんの将来の進路・職業選択に関連があることが指摘されています。

家庭の経済状況に関わらず、横浜の未来を創る全ての子ども・青少年の健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるため、子ども・青少年施策や一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を一層充実させていくことが必要と考え、横浜市では現在、子どもの貧困対策に関する計画の策定に向けた検討を進めています。

この計画に、横浜市内の子ども・若者や子育て家庭の状況をしっかりと把握した上で、より効果的な施策を盛り込むため、子ども・若者のいる世帯の皆様の日ごろの暮らしやお子さんの様子、子育てに感じている悩みや、保護者等の就業や所得状況を伺うアンケート調査を実施させていただきます。

ご回答いただいた内容は、計画内容の検討とともに、広く子ども・青少年支援施策の充実に向けた検討に活用させていただきます。ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年8月 横浜市子ども青少年局

< 調査について >

この調査は、正規の手続きを経て住民基本台帳から無作為に抽出した、平成27年4月1日現在の年齢が0歳から24歳未満の子ども・若者の方がひとり以上いらっしゃる世帯に送付させていただいております。本アンケート実施の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、8月24日（月）までに同封の返信用封筒にてご返送いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。（切手を貼る必要はありません）

【ご回答いただいた調査票は、上記の目的以外に使用することはありません。】

この調査に関する御意見・お問い合わせは、
横浜市子ども青少年局企画調整課へ御連絡ください。

電話：045-671-4281 FAX：045-663-8061 E M A I L：kd-kikaku@city.yokohama.jp

< 記入上の注意 >

- 1 未成年の方など、保護者の方と住居と生計を共にしている場合には、保護者の方がお答えください。ひとり暮らしをされている方や、自ら生計を立てている方などの場合には、宛名のご本人がお答えください。
- 2 回答は、回答欄に数字等を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。設問の指示に沿ってお答えください。

最初に、調査に回答いただく方（あなた）のことについておたずねします

問1 この調査に回答いただいている方（あなた）の、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. 本人 | 6. その他（具体的に： _____） | | |

問2 現在のお住まいの地区についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 鶴見区 | 2. 神奈川区 | 3. 西区 | 4. 中区 |
| 5. 南区 | 6. 港南区 | 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区 |
| 9. 磯子区 | 10. 金沢区 | 11. 港北区 | 12. 緑区 |
| 13. 青葉区 | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 | 16. 栄区 |
| 17. 泉区 | 18. 瀬谷区 | | |

世帯の状況についておたずねします

※あなたの世帯について、平成27年4月1日現在の状況を教えてください。年齢についても、平成27年4月1日時点でお考えください。

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含まれます。

※また、病院・診療所に入院している人も含まれますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。

※さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

問3 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。

世帯員人数 (あなたを含めて)
<input type="text"/> 人

問4 世帯員のうち、子ども・若者（平成27年4月1日現在0歳から24歳未満の方）の人数についてお教えください。

※学業等で世帯を離れている方や、生計を別に行っている方は人数に含めません

世帯員のうち 子ども・若者の人数
□ 人

平成27年4月1日現在の世帯員のうち子ども・若者の人数が「0人」の場合

調査はこれで終わりです。
同封の返信用封筒でご返送ください。
ご協力ありがとうございました。

世帯員のうち子ども・若者の人数が1人以上の場合には、年齢別の人数について回答の上、問5以降の質問にお答えください

子ども・若者の人数			
0～5歳	6～11歳	12～17歳	18～23歳
□ 人	□ 人	□ 人	□ 人

問5 あなたの世帯に含まれる方全員の、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方から見た続柄についてお教えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. 本人	6. 兄弟姉妹	7. 配偶者	8. 子ども（息子・娘）
9. その他（具体的に： _____）			

問6 あなたの世帯の世帯主（家計の主たる収入を得ている人）はどなたですか。宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方から見た続柄についてお教えください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. 本人	6. 兄弟姉妹	7. 配偶者	8. 子ども（息子・娘）
9. その他（具体的に： _____）			

問7 あなたの世帯の世帯主の方の生年月（西暦）についてお教えください。

世帯主の方の生年月（西暦）	□ □ 年	□ □ 月
---------------	-------	-------

問8 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもを育てている世帯とします。
 ※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。
 ※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当しない	2. 該当する（死別）	3. 該当する（離婚）
4. 該当する（未婚）	5. 該当する（別居）	6. 該当する（その他： _____）

宛名の方のことや、兄弟姉妹のことについておたずねします

問9 宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方のことに、また、その兄弟姉妹のことに、それぞれ以下の①～⑨の点について教えてください。

- ※兄弟姉妹が4人以上いらっしゃる場合には、年長の方から順に4番目の方までご回答ください。
- ※②～④、⑥～⑨については、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。⑤については、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
- ※⑥、⑦には、学校教育機関等の在籍状況が「小学生」以上の場合について回答してください。⑧、⑨には、学校教育機関等の在籍状況が「学校等は既に卒業等している」場合について回答してください。
- ※「不登校」とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」を意味します。
- ※「身体障害」とは、視覚障害、聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語障害（咀嚼障害を含む）、肢体不自由、心臓・腎臓等の内部障害の5種類に関する障害（身体障害者手帳を所有している方）が該当します。
- ※「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他の広汎性発達障害等が該当します。
- ※障害等に関する「その他」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める難病等が該当します。

宛名の方
＜宛名の方＞

①生年月（西暦）	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性							
③学校教育機関等の在籍状況	1. 未就園	2. 保育所	3. 幼稚園	4. 小学校	5. 中学校	6. 高等学校	7. 高専、短大、専門学校等	8. 大学	9. 大学院	10. その他教育機関	11. 進学等準備中	12. 学校等は既に卒業等している
④健康状態	1. よい	2. まあよい	3. 普通	4. あまりよくない	5. よくない	6. わからない						
⑤障害等の有無	1. 特にない	2. 身体障害	3. 知的な遅れ	4. 発達障害	5. その他	6. わからない						
⑥学校等での勉強全般（小学生以上の場合）	1. 成績良好	2. まあまあ良好	3. 普通	4. やや遅れている	5. かなり遅れている	6. わからない						
⑦不登校の有無（小学生以上の場合）	1. 不登校経験なし	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	4. わからない								
⑧最終学歴（「学校等は既に卒業等している」場合）	1. 中学校卒業	2. 高等学校中退	3. 高等学校卒業	4. 高専、短大、専門学校等中退	5. 高専、短大、専門学校等卒業	6. 大学中退	7. 大学卒業	8. 大学院中退	9. 大学院修了	10. その他教育機関中退	11. その他教育機関卒業	12. その他（ ）
⑨就業等の状況（「学校等は既に卒業等している」場合）	1. 求職中	2. 正社員・正規職員	4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	3. パート・アルバイト	5. 人材派遣会社の派遣社員	6. 自営業主（商店主・農業など）	7. 自家営業の手伝い	8. 主夫・主婦	9. その他（ ）			

⇒宛名の方に兄弟姉妹がいらっしゃらない場合には、続いて、7ページの問10以降にお答えください。
兄弟姉妹がいらっしゃる場合には、5ページ以降の回答欄にも同様に回答ください。

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹1人目>

①生年月(西暦)	年 月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 4. 小学校 7. 高専、短大、専門学校等 10. その他教育機関	2. 保育所 5. 中学校 8. 大学 11. 進学等準備中	3. 幼稚園 6. 高等学校 9. 大学院 12. 学校等は既に卒業等している	
④健康状態	1. よい 4. あまりよくない	2. まあよい 5. よくない	3. 普通 6. わからない	
⑤障害等の有無	1. 特にない 4. 発達障害	2. 身体障害 5. その他	3. 知的な遅れ 6. わからない	
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 4. やや遅れている	2. まあまあ良好 5. かなり遅れている	3. 普通 6. わからない	
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 4. わからない	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 7. 大学卒業 10. その他教育機関中退	2. 高等学校中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 8. 大学院中退 11. その他教育機関卒業	3. 高等学校卒業 6. 大学中退 9. 大学院修了 12. その他()	
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 3. パート・アルバイト 5. 人材派遣会社の派遣社員 7. 自家営業の手伝い 9. その他()	2. 正社員・正規職員 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 6. 自営業主(商店主・農業など) 8. 主夫・主婦		

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹2人目>

①生年月(西暦)	年 月	②性別	1. 男性	2. 女性
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園 4. 小学校 7. 高専、短大、専門学校等 10. その他教育機関	2. 保育所 5. 中学校 8. 大学 11. 進学等準備中	3. 幼稚園 6. 高等学校 9. 大学院 12. 学校等は既に卒業等している	
④健康状態	1. よい 4. あまりよくない	2. まあよい 5. よくない	3. 普通 6. わからない	
⑤障害等の有無	1. 特にない 4. 発達障害	2. 身体障害 5. その他	3. 知的な遅れ 6. わからない	
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好 4. やや遅れている	2. まあまあ良好 5. かなり遅れている	3. 普通 6. わからない	
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし 4. わからない	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業 4. 高専、短大、専門学校等中退 7. 大学卒業 10. その他教育機関中退	2. 高等学校中退 5. 高専、短大、専門学校等卒業 8. 大学院中退 11. その他教育機関卒業	3. 高等学校卒業 6. 大学中退 9. 大学院修了 12. その他()	
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中 3. パート・アルバイト 5. 人材派遣会社の派遣社員 7. 自家営業の手伝い 9. その他()	2. 正社員・正規職員 4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 6. 自営業主(商店主・農業など) 8. 主夫・主婦		

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹3人目>

①生年月 (西暦)	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性							
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園	2. 保育所	3. 幼稚園	4. 小学校	5. 中学校	6. 高等学校	7. 高専、短大、専門学校等	8. 大学	9. 大学院	10. その他教育機関	11. 進学等準備中	12. 学校等は既に卒業等している
④健康状態	1. よい	2. まあよい	3. 普通	4. あまりよくない	5. よくない	6. わからない						
⑤障害等の有無	1. 特にない	2. 身体障害	3. 知的な遅れ	4. 発達障害	5. その他	6. わからない						
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好	2. まあまあ良好	3. 普通	4. やや遅れている	5. かなり遅れている	6. わからない						
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	4. わからない								
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業	2. 高等学校中退	3. 高等学校卒業	4. 高専、短大、専門学校等中退	5. 高専、短大、専門学校等卒業	6. 大学中退	7. 大学卒業	8. 大学院中退	9. 大学院修了	10. その他教育機関中退	11. その他教育機関卒業	12. その他 ()
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中	2. 正社員・正規職員	3. パート・アルバイト	4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	5. 人材派遣会社の派遣社員	6. 自営業主 (商店主・農業など)	7. 自家営業の手伝い	8. 主夫・主婦	9. その他 ()			

きょうだいしまい にんめ
 <兄弟姉妹4人目>

①生年月 (西暦)	年	月	②性別	1. 男性	2. 女性							
③学校教育機関等の 在籍状況	1. 未就園	2. 保育所	3. 幼稚園	4. 小学校	5. 中学校	6. 高等学校	7. 高専、短大、専門学校等	8. 大学	9. 大学院	10. その他教育機関	11. 進学等準備中	12. 学校等は既に卒業等している
④健康状態	1. よい	2. まあよい	3. 普通	4. あまりよくない	5. よくない	6. わからない						
⑤障害等の有無	1. 特にない	2. 身体障害	3. 知的な遅れ	4. 発達障害	5. その他	6. わからない						
⑥学校等での勉強全般 (小学生以上の場合)	1. 成績良好	2. まあまあ良好	3. 普通	4. やや遅れている	5. かなり遅れている	6. わからない						
⑦不登校の有無 (小学生以上の場合)	1. 不登校経験なし	2. 過去に不登校経験あり	3. 現在不登校中	4. わからない								
⑧最終学歴 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 中学校卒業	2. 高等学校中退	3. 高等学校卒業	4. 高専、短大、専門学校等中退	5. 高専、短大、専門学校等卒業	6. 大学中退	7. 大学卒業	8. 大学院中退	9. 大学院修了	10. その他教育機関中退	11. その他教育機関卒業	12. その他 ()
⑨就業等の状況 (「学校等は既に卒業等 している」場合)	1. 求職中	2. 正社員・正規職員	3. パート・アルバイト	4. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	5. 人材派遣会社の派遣社員	6. 自営業主 (商店主・農業など)	7. 自家営業の手伝い	8. 主夫・主婦	9. その他 ()			

宛名の方が18歳未満の場合に、その保護者の方におたずねします
 ※宛名の方ご本人が回答している場合や、宛名の方が18歳以上の場合など、
 該当しない方は、10ページの問24以降にお答えください

問10 宛名の子どもは、普段（月曜日～金曜日）、朝決まった時間に起きられますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 起きられる | 2. どちらかといえば起きられる |
| 3. どちらかといえば起きられない | 4. 起きられない |
| 5. わからない | |

問11 宛名の子どもは、1週間に朝ごはんをどれくらい食べていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|----------------|--------------|----------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5日以上食べる | 3. 週に3, 4日は食べる |
| 4. 週に1, 2日は食べる | 5. ほとんど食べない | 6. わからない |

問12 宛名の子どもは、1週間にお風呂（シャワーのみの場合も含む）にどれくらい入っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|---------------|-------------|---------------|
| 1. 毎日入る | 2. 週に5日以上入る | 3. 週に3, 4日は入る |
| 4. 週に1, 2日は入る | 5. ほとんど入らない | 6. わからない |

問13 普段、子どもだけでごはんを食べることがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない | 4. まったくない | 5. わからない |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|

問14 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|---|
| 1. 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない |
| 2. 子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がいない |
| 3. 配偶者が子育てにあまり協力してくれない |
| 4. 配偶者と子育てのことで意見が合わない |
| 5. 子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない |
| 6. 子どもが勉強しない |
| 7. 子どもの進学や受験のことが心配である |
| 8. 子どもの就職のことが心配である |
| 9. 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない |
| 10. 子どもが何事に対しても消極的である |
| 11. 子どもが良い友人関係を持てない |
| 12. 子どもの身体の発育や病気が心配である |
| 13. 子どもの非行や問題行動が心配である |
| 14. 子どもの教育費のことが心配である |
| 15. 子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない |
| 16. その他（ |
| 17. 特に悩みはない |

問15 あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか。

（ア）家族で買い物に出かけること（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

（イ）子どもに勉強を教えること（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

問16 あなたの世帯では、次の（ア）（イ）のようなことがどれくらいありますか。

（ア）家族で旅行に行くこと（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 年2回以上の頻度である | 2. 年1回程度の頻度である |
| 3. 年1回より頻度は少ないがときどきある | 4. ほとんどない |

（イ）家族でファミリーレストラン等で外食すること（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 月2回以上の頻度である | 2. 月1回程度の頻度である |
| 3. 月1回より頻度は少ないがときどきある | 4. ほとんどない |

問17 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-------------|-------------|

問18 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | |
|--------------------------------|
| 1. ある |
| 2. これまでにはないが、今後その可能性はある |
| 3. これまでになく、今後もその可能性はない（可能性は低い） |

問19 あなたの世帯では、過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。（「ある」場合には、その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|--|
| 1. ない（病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した） |
| 2. ある（病院や診療所に行く時間がなかったため） |
| 3. ある（身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため） |
| 4. ある（病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため） |
| 5. ある（公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しいため） |
| 6. ある（公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しいため） |
| 7. ある（その他の理由・具体的に： _____) |

問20 子どもにとって次のことはどの程度重要だと思いますか。(ア)～(エ)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	非常に重要である	重要である	少しは重要である	重要でない
(ア) 一生懸命勉強すること	1	2	3	4
(イ) 高校卒業後大学・短大・専門学校等に進学すること	1	2	3	4
(ウ) 一生懸命働くこと	1	2	3	4
(エ) 家族の介護やきょうだいの世話をすること	1	2	3	4

問21 宛名の子どもは、現在習い事等をしてしていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 学習塾	2. 通信教育	3. 英会話
4. 習字・そろばん	5. 音楽・絵画	6. スポーツ・ダンス
7. その他 ()		8. 特に行っていない

問22 宛名の子どもについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 現在利用している	2. 今後利用したいと思う	3. 利用するつもりはない
-------------	---------------	---------------

問23 宛名の子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 低い家賃で住める場所(寮や下宿のようなど)
3. 生活や就学のための経済的補助
4. 進路や生活などについてなんでも相談できる場所
5. 仲間と出会う、一緒に活動できる場所
6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供
7. 地域における子どもの居場所の提供
8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
9. 会社などでの職場体験等の機会
10. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
11. その他 ()
12. 特にない
13. よくわからない

⇒引き続き、問24以降にお答えください

あなたのことについておたずねします

問24 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|------------------|-------|
| 1. 横浜市内での転居 | 2. 横浜市外から横浜市への転居 | 3. 離職 |
| 4. 転職 (1回) | 5. 転職 (2回以上) | 6. 離婚 |
| 7. 配偶者との死別 | 8. いずれも該当しない | |

問25 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. している (ひとつの仕事をしている) 2. している (複数の仕事をしている) 3. していない

→ (問25-2-1へ)

(問25-1-1と問25-1-2は、現在、収入をとまなう仕事を「している」方におたずねします)

問25-1-1 現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主 (商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他 () | |

問25-1-2 現在の仕事からの年間の所得(税込み、賞与分も含む)は大体いくらぐらいですか。

また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。

それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	<input type="text"/>	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	<input type="text"/>	時間
---------	----------------------	----	-----------------	----------------------	----

⇒引き続き、問26以降にお答えください

(問25-2-1～問25-2-3は、現在、収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問25-2-1 あなたは現在働きたいと思っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 今すぐに働きたい 2. 今は働けないがそのうち働きたい 3. 働きたいと思わない

→ (問26以降へ)

問25-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 仕事の探し方がわからない |
| 2. 収入について条件のあう仕事がない |
| 3. 時間について条件のあう仕事がない |
| 4. 年齢制限のため仕事がない |
| 5. 仕事に必要な専門知識や資格がない |
| 6. 子どもの保育の手だてがない |
| 7. その他 () |

問25-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 子どもの保育の手だてができれば |
| 2. 子どもが小学校に入学したら |
| 3. 子どもの問題(健康など)が解決したら |
| 4. 自分(健康など)の問題が解決したら |
| 5. 学校や職業訓練などが終了したら |
| 6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら |
| 7. その他 () |

⇒引き続き、問26以降にお答えください

問26 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------|---------|-------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. 普通 | 4. あまりよくない | 5. よくない |
|-------|---------|-------|------------|---------|

問27 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた | |
| 2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた | |
| 3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた | 4. 気分がひどく落ち込んでいた |
| 5. なかなか眠れないことがあった | 6. いずれも経験してない |

問27-1 (問27-1は、問27で、1. ~ 3. のいずれかを回答した方にうかがいます) 差し支えない範囲で、病名や障害の種類について教えてください。

Blank box for answer to question 27-1.

問28 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. あなたの両親が離婚した | 2. あなたが成人する前に母親が亡くなった |
| 3. あなたが成人する前に父親が亡くなった | 4. あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた |
| 5. 親から暴力を振るわれたことがある | 6. 親と疎遠になっている(なっていた) |
| 7. 親の介護が負担になっている(なっていた) | 8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある |
| 9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある | 10. 上記のいずれも経験したことがない |

問29 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 中学校卒業 | 2. 高等学校中退 |
| 3. 高等学校卒業 | 4. 高専、短大、専門学校等中退 |
| 5. 高専、短大、専門学校等卒業 | 6. 大学中退 |
| 7. 大学卒業 | 8. 大学院中退 |
| 9. 大学院修了 | 10. その他の教育機関中退 |
| 11. その他の教育機関卒業 | 12. その他 () |

問30 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|-------------|------------------|
| 1. 相談できる相手がいる | 2. 相談相手がほしい | 3. 必要ない ⇒ 問31以降へ |
|---------------|-------------|------------------|

問30-1 (「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方にうかがいます)

その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親・親族 | 3. 子ども |
| 4. 友人・知人 | 5. 隣人・地域の人 | 6. 幼稚園・保育所の先生 |
| 7. 学校の先生 | 8. カウンセラーなどの専門家 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. 区役所など公的機関 | 11. 民間団体やボランティア | 12. その他 () |

⇒引き続き、問31以降にお答えください

あなたの配偶者の方についておたずねします

(ここでの「配偶者」には、法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある人も含みます)
 ※未婚の方やひとり親の方など、該当しない方は、14 ページの間37以降にお答えください

問31 配偶者の方について、過去1年間に次のようなことはありましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 離職 | 2. 転職 (1回) | 3. 転職 (2回以上) |
| 4. いずれも該当しない | 5. わからない | |

問32 配偶者の方は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. している (ひとつの仕事をしている) 2. している (複数の仕事をしている) 3. していない

→ (問32-2-1へ)

(問32-1-1と問32-1-2は、現在、配偶者の方が収入をとまなう仕事を「している」場合におたずねします)

問32-1-1 配偶者の方の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主 (商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他 () | |

問32-1-2 配偶者の方の、現在の仕事からの年間の所得 (税込み、賞与分も含む) は大体いくらぐらいですか。また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	時間
---------	----	-----------------	----

⇒引き続き、問33以降にお答えください

(問32-2-1～問32-2-3は、現在、配偶者の方が収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問32-2-1 配偶者の方は現在働きたいと思っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 今すぐに働きたい 2. 今は働けないがそのうち働きたい 3. 働きたいと思わない

→ (問33以降へ)

問32-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 仕事の探し方がわからない |
| 2. 収入について条件のあう仕事がない |
| 3. 時間について条件のあう仕事がない |
| 4. 年齢制限のため仕事がない |
| 5. 仕事に必要な専門知識や資格がない |
| 6. 子どもの保育の手だてがない |
| 7. その他 () |

問32-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 子どもの保育の手だてができれば |
| 2. 子どもが小学校に入学したら |
| 3. 子どもの問題 (健康など) が解決したら |
| 4. 自分自身の問題 (健康など) が解決したら |
| 5. 学校や職業訓練などが終了したら |
| 6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら |
| 7. その他 () |

⇒引き続き、問33以降にお答えください

問33 配偶者の方の現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よい
2. まあよい
3. 普通
4. あまりよくない
5. よくない
6. わからない

問34 配偶者の方は、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた
2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた
3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた
4. 気分がひどく落ち込んでいた
5. なかなか眠れないことがあった
6. いずれも経験してない
7. わからない

問34-1 (問34-1は、問34で、1～3のいずれかを回答した方にうかがいます)

差し支えない範囲で、病名や障害の種類についてお教えてください。

問35 配偶者の方は、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 両親が離婚した
2. 成人する前に母親が亡くなった
3. 成人する前に父親が亡くなった
4. 成人する前の生活は経済的に困っていた
5. 親から暴力を振るわれたことがある
6. 親と疎遠になっている(なっていた)
7. 親の介護が負担になっている(なっていた)
8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある
9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある
10. 上記のいずれも経験したことがない
11. わからない

問36 配偶者の方の最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校卒業
2. 高等学校中退
3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等中退
5. 高専、短大、専門学校等卒業
6. 大学中退
7. 大学卒業
8. 大学院中退
9. 大学院修了
10. その他の教育機関中退
11. その他の教育機関卒業
12. その他 ()
13. わからない

⇒引き続き、問37以降にお答えください

現在の暮らしの状況についておたずねします

問37 現在の住居の状況について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1. 持家 | 2. 市営・県営住宅 | 3. 公社・公団(UR)の賃貸 |
| 4. 社宅 | 5. 借家 | 6. 間借 |
| 7. その他(具体的に:) | | |

問38 あなたの世帯では、次のような借入金がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 住宅・土地の購入のための借入金(住宅ローン) | 2. 車の購入のための借入金 |
| 3. 教育のための借入金(返済が必要な奨学金を含む) | 4. 親族や友人・知人からの借入金 |
| 5. 母子福祉資金貸付金など自治体等からの借入金 | 6. その他の借入金() |
| 7. 借入金はない | |

問39 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。(ア)～(エ)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください

※各種の支払いや借入金がない場合などは、「該当しない」を選択してください

	なかった	あった	該当しない
(ア) 家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3
(イ) 電気料金・ガス料金・水道料金の未払い	1	2	3
(ウ) 電話料金の未払い	1	2	3
(エ) その他の債務不履行	1	2	3

問40 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-------------|-------------|

問41 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする衣料が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-------------|-------------|

問42 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 | 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|

世帯の家計のこと等についておたずねします

問43 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、同時に複数の仕事を掛け持ちした人はいますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | | | | | |
|--------|----------------|-------|-------|--------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 | 5. 本人 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 配偶者 | 8. その他（具体的に：) | | | 9. 該当する人はいない | |

問44 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）に、深夜（22時～5時頃）や早朝（5時～8時）の時間を勤務時間として仕事をしていた人はいますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | | | | | |
|--------|----------------|-------|-------|--------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 | 5. 本人 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 配偶者 | 8. その他（具体的に：) | | | 9. 該当する人はいない | |

問45 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、「働いて得た所得」（雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、家内労働所得）はありましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の方を合わせてお考えください。（本調査票の2ページ下部の説明を再度ご確認ください）

※問38で回答いただいた各種の借入金は、所得には含めません。

※「雇用者所得」については、勤め先から受け取った給料、賞金、賞与（ボーナス）についてお考えください。アルバイト等による所得も含みます。

※「事業所得」、「農耕・畜産所得」、「家内労働所得」については、収入から、必要な経費を差し引いた所得でお考えください。

※宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 母親が働いて得た所得 | 2. 父親が働いて得た所得 |
| 3. 祖母が働いて得た所得 | 4. 祖父が働いて得た所得 |
| 5. 本人が働いて得た所得 | 6. 兄弟姉妹が働いて得た所得 |
| 7. 配偶者が働いて得た所得 | 8. その他の方が働いて得た所得 |
| 9. 平成26年1月1日～12月31日の期間、働いて得た所得はなかった | |

問46 あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、次の（ア）～（ク）のような所得はありましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください）

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。（本調査票の2ページ下部の説明を再度ご確認ください）

※問38で回答いただいた各種の借入金、所得には含めません。

※各所得について説明の内容を読んでお答えください。

	説明	あり	なし
（ア）財産による所得	※家屋や土地を貸すことによって得た収入や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金（源泉分離課税分を含む）についてお考えください。 ※ただし、家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。	1	2
（イ）公的年金・恩給による所得	※国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む）、共済年金、障害年金、福祉年金、恩給などからの受取額でお考えください。	1	2
（ウ）雇用保険による所得	※雇用保険法の失業等給付の受取額（育児休業給付、介護休業給付を含む）でお考えください。	1	2
（エ）児童手当等による所得	※児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金についてお考えください。	1	2
（オ）その他の社会保障給付金による所得	※生活保護による扶助、医療保険による傷病手当金・出産手当金、労働者災害補償保険など、その他法令に基づく支給金についてお考えください。	1	2
（カ）仕送りによる所得	※定期的または継続的に送られてきた金銭の有無についてお考えください。 ※単身赴任者を送り出している世帯で、単身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、それを含めてお考えください。	1	2
（キ）企業年金・個人年金等による所得	※「企業年金・個人年金等による所得」は、企業年金、生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金及び年金型商品、国民年金基金、農業者年金等からの受取額についてお考えください。 ※ただし、厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」としてお考えください。	1	2
（ク）その他の所得	※上記（ア）～（キ）以外の、冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金などについてお考えください。	1	2

問47 問46 で回答いただいた内容について、あらためておたずねします。あなたの世帯では、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）で、次のような形での所得はありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| 1. 親・親族からの仕送り | 2. 元配偶者からの養育費 | 3. 遺族基礎年金・遺族厚生年金 |
| 4. 生活保護 | 5. 児童扶養手当 | 6. いずれも該当しない |

問48 問45、問46 でお答えいただいた所得のうち、主な所得はどれですか。次の選択肢の中から所得の多い順に5つまで選び、その番号を口の中にご記入ください。

※「働いて得た所得」については、宛名でお送りさせていただいた0歳から24歳未満の方からみた続柄で回答してください。

最も所得の多いもの	<input type="text"/>	2番目に多いもの	<input type="text"/>	3番目に多いもの	<input type="text"/>
		4番目に多いもの	<input type="text"/>	5番目に多いもの	<input type="text"/>

<選択肢>

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 母親が働いて得た所得 | ② 父親が働いて得た所得 |
| ③ 祖母が働いて得た所得 | ④ 祖父が働いて得た所得 |
| ⑤ 本人が働いて得た所得 | ⑥ 兄弟姉妹が働いて得た所得 |
| ⑦ 配偶者が働いて得た所得 | ⑧ その他の方が働いて得た所得 |
| ⑨ 財産による所得 | ⑩ 公的年金・恩給による所得 |
| ⑪ 雇用保険による所得 | ⑫ 児童手当等による所得 |
| ⑬ その他の社会保障給付金による所得 | ⑭ 仕送りによる所得 |
| ⑮ 企業年金・個人年金等による所得 | ⑯ その他の所得 |

問49 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の所得の合計（税込み）はいくらですか。（金額を回答欄の中にご記入ください）

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。（本調査票の2ページの説明を再度ご確認ください）

※問45、問46 で回答いただいた、「働いて得た所得」から「その他の所得」まで、各種の所得の合計金額（税込み）をお教えください。

※可能であれば、昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の源泉徴収票や給与明細書、確定申告書などをもとにして回答してください。1年分の所得金額がわからないときは、1か月分の収入を12倍するなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

※万円未満は四捨五入して、万円単位で記入してください。（1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」）

※問38 で回答いただいた各種の借入金は、所得には含めません。

世帯員全員の年間の所得の合計（税込み）	万円
---------------------	----

問50 あなたの世帯の昨年1年間（平成26年1月1日～12月31日の期間）の可処分所得（いわゆる手取り収入）がおおよそどのくらいか教えてください。

※問49で回答いただいた世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」「社会保険料（医療保険（短期掛金）、「年金保険（長期掛金）、「介護保険」、「雇用保険）」、「固定資産税」を除いた額がおおよそどのくらいか教えてください。

※回答は、あなたを含む世帯員人数（問3で回答いただいた人数）に応じて、選択肢よりいずれかあてはまる番号1つに○をつけてください。

$$\text{可処分所得 (問50)} = \text{所得 (問49)} - \text{「所得税」「住民税」「社会保険料」「固定資産税」}$$

世帯員人数 (問3での回答人数)	可処分所得・選択肢					
「1人」の場合…	1. 60万円未満	2. 60万円～120万円未満	3. 120万円～180万円未満	4. 180万円～240万円未満	5. 240万円～300万円未満	6. 300万円以上
「2人」の場合…	1. 85万円未満	2. 85万円～175万円未満	3. 175万円～260万円未満	4. 260万円～345万円未満	5. 345万円～430万円未満	6. 430万円以上
「3人」の場合…	1. 105万円未満	2. 105万円～210万円未満	3. 210万円～315万円未満	4. 315万円～420万円未満	5. 420万円～525万円未満	6. 525万円以上
「4人」の場合…	1. 120万円未満	2. 120万円～245万円未満	3. 245万円～365万円未満	4. 365万円～485万円未満	5. 485万円～605万円未満	6. 605万円以上
「5人」の場合…	1. 135万円未満	2. 135万円～275万円未満	3. 275万円～410万円未満	4. 410万円～545万円未満	5. 545万円～680万円未満	6. 680万円以上
「6人」の場合…	1. 150万円未満	2. 150万円～300万円未満	3. 300万円～450万円未満	4. 450万円～600万円未満	5. 600万円～750万円未満	6. 750万円以上
「7人」の場合…	1. 160万円未満	2. 160万円～325万円未満	3. 325万円～485万円未満	4. 485万円～645万円未満	5. 645万円～805万円未満	6. 805万円以上
「8人」の場合…	1. 175万円未満	2. 175万円～345万円未満	3. 345万円～520万円未満	4. 520万円～695万円未満	5. 695万円～870万円未満	6. 870万円以上
「9人」以上の場合…	1. 185万円未満	2. 185万円～365万円未満	3. 365万円～550万円未満	4. 550万円～735万円未満	5. 735万円～920万円未満	6. 920万円以上

アンケートは以上で終わりです。ありがとうございました。

よこはまし こ せたい せいかつじょうきょうとう かん ちょうさ
横浜市 子どものいる世帯の生活状況等に関する調査
 ほごしやむ ちょうさ ちょうさひょう
保護者向け調査 調査票

ちょうさ きょうりょく の おねがひ
< 調査ご協力 のお願い >

みなさまには、日ごろから横浜市へご協力をいただきありがとうございます。
 横浜市では、子育てしやすい環境づくりや、子ども・青少年の健やかな成長などに関する様々な取組を行っています。今後、より効果的な取組を進めていくため、子ども・青少年施策の計画の策定や支援策の充実などのため、本市の支援制度や事業を利用されている方々から、日ごろの暮らしやお子さんの様子、子育てに感じていらっしゃる悩みや、充実を期待する支援策等について、直接ご意見を伺うアンケート調査を実施させていただきます。

このアンケート調査は、保護者様にご回答いただくもののほか、お子さん自身の学校生活やお考えについてお伺いするアンケート調査も同封しておりますので、中学生・高校生のお子さんがいらっしゃるご家庭につきましては、保護者様のご判断により、調査票と返信用封筒をお子様へお渡しくделаさいますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容は、計画内容の検討や支援施策の充実に向けた検討に活用させていただきます。ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

※このアンケート調査は、横浜市の生活・子育てを支援する事業を利用している方にご協力をお願いしています。万が一、同様の調査票をお受け取りになった際は、どれか1つの調査票についてご回答ください。

平成27年8月 横浜市子ども青少年局

ちょうさ について
< 調査 について >

回答は、回答欄に数字や文章等を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。設問の指示に沿ってお答えください。お忙しいところ誠に恐縮ですが、8月28日(金)までに同封の返信用封筒にてご返送いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。(切手を貼る必要はありません)

【ご回答いただいた調査票は、上記の目的以外に使用することはありません。】

この調査に関する御意見・お問い合わせは、

横浜市子ども青少年局企画調整課へ御連絡ください。

電話 : 045-671-4281 F A X : 045-663-8061 E M A I L : kd-kikaku@city.yokohama.jp

あなたの世帯のことについておたずねします

※あなたの世帯について、平成27年4月1日現在の状況を教えてください。在学等の状況についても、平成27年4月1日時点でお考えください。

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的(3か月以内)に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含みます。また、病院・診療所に入院している人も含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

問1 この調査に回答いただいている方(あなた)の、子どもからみた続柄についてお教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他(具体的に:)

問2 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。(人数を口の中に記入してください)

世帯員人数(あなたを含めて)	<input type="text"/>	人
----------------	----------------------	---

問3 あなたの世帯に含まれる方全員について、該当する区分欄ごとに人数を教えてください。(それぞれ人数を口の中に記入してください)

子どもの人数						
小学校 にゆうがまえ 入学前	しょうがくせい 小学生	ちゅうがくせい 中学生	こうこうせい 高校生	だいがく たんだい 大学、短大 せんもんがっこうとう 専門学校等	しゅう しょく 就 職	その他
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

その他の世帯員の人数				
あなたの配偶者	あなたの父母	あなたの祖父母	あなたの兄弟姉妹	その他
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

問4 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもの育てている世帯とします。

※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。

※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当しない 2. 該当する(死別) 3. 該当する(離婚)
4. 該当する(未婚) 5. 該当する(別居) 6. 該当する(その他:)

あなたのことについておたずねします

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない

問6 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしてますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. している(ひとつの仕事をしている) 2. している(複数の仕事をしている) 3. していない

(問6-2-1へ)

(問6-1-1と問6-1-2は、現在、収入をとまなう仕事を「している」方におたずねします)

問6-1-1 現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主(商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他() | |

問6-1-2 現在の仕事からの年間の所得(税込み、賞与分も含む)は大体いくらぐらいですか。
また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。
それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	<input type="text"/>	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	<input type="text"/>	時間
---------	----------------------	----	-----------------	----------------------	----

⇒引き続き、問7以降にお答えください

(問6-2-1～問6-2-3は、現在、収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問6-2-1 あなたは現在働きたいと思っておりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 今すぐに働きたい 2. 今は働けないがそのうち働きたい 3. 働きたいと思わない

(問7以降へ)

問6-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事の探し方がわからない
2. 収入について条件のあう仕事がない
3. 時間について条件のあう仕事がない
4. 年齢制限のため仕事がない
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない
6. 子どもの保育の手だてがない
7. その他()

問6-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの保育の手だてができれば
2. 子どもが小学校に入学したら
3. 子どもの問題(健康など)が解決したら
4. 自分の問題(健康など)が解決したら
5. 学校や職業訓練などが終了したら
6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら
7. その他()

⇒引き続き、問7以降にお答えください

問7 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた | |
| 2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた | |
| 3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた | 4. 気分がひどく落ち込んでいた |
| 5. なかなか眠れないことがあった | 6. いずれも経験していない |

問7-1 (問7-1は、問7で、1. ~ 3. のいずれかを回答した方にうかがいます)

差し支えない範囲で、病名や障害の種類についてお教えてください。

問8 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|------------------|-------|
| 1. 横浜市内での転居 | 2. 横浜市外から横浜市への転居 | 3. 離職 |
| 4. 転職 (1回) | 5. 転職 (2回以上) | 6. 離婚 |
| 7. 配偶者との死別 | 8. いずれも該当しない | |

問8-1 (問8-1は、問8で、1. ~ 7. のいずれかを回答した方にうかがいます)

上記のような変化に伴い、困ったことや、問題になったこと、あるいは、それまでにはできていたことができなくなったことなどがあれば、その内容についてお教えてください。

問9 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. あなたの両親が離婚した | 2. あなたが成人する前に母親が亡くなった |
| 3. あなたが成人する前に父親が亡くなった | 4. あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた |
| 5. 親から暴力を振るわれたことがある | 6. 親と疎遠になっている (なっていた) |
| 7. 親の介護が負担になっている (なっていた) | 8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある |
| 9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある | 10. 上記のいずれも経験していない |

問10 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 中学校卒業 | 2. 高等学校中退 |
| 3. 高等学校卒業 | 4. 高専、短大、専門学校等中退 |
| 5. 高専、短大、専門学校等卒業 | 6. 大学中退 |
| 7. 大学卒業 | 8. 大学院中退 |
| 9. 大学院修了 | 10. その他の教育機関中退 |
| 11. その他の教育機関卒業 | 12. その他 () |

問11 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 相談できる相手がいる 2. 相談相手がほしい 3. 必要ない ⇒ 問12以降へ

問11-1 (「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方にかがいます)

その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親・親族 | 3. 子ども |
| 4. 友人・知人 | 5. 隣人・地域の人 | 6. 幼稚園・保育所の先生 |
| 7. 学校の先生 | 8. カウンセラーなどの専門家 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. 区役所など公的機関 | 11. 民間団体やボランティア | 12. その他 () |

⇒引き続き、問12以降にお答えください

18歳未満の子どものことなどについておたずねします

問12 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない
- 子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がいない
- 配偶者が子育てにあまり協力してくれない
- 配偶者と子育てのことで意見が合わない
- 子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身につけていない
- 子どもが勉強しない
- 子どもの進学や受験のことが心配である
- 子どもの就職のことが心配である
- 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない
- 子どもが何事に対しても消極的である
- 子どもが良い友人関係を持てない
- 子どもの身体の発育や病気が心配である
- 子どもの非行や問題行動が心配である
- 子どもの教育費のことが心配である
- 子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない
- その他 ()
- 特に悩みはない

問13 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくあった 2. ときどきあった 3. ほとんどなかった 4. まったくなかった

問14 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ある
2. これまでにはないが、今後その可能性はある
3. これまでになく、今後もその可能性はない(可能性は低い)

問15 あなたの世帯では、過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(「ある」場合には、その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ない(病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した)
2. ある(病院や診療所に行く時間がなかったため)
3. ある(身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)
4. ある(病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)
5. ある(公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しいため)
6. ある(公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しいため)
7. ある(その他の理由・具体的に：)

問16 子どもは、現在習い事等をしていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 学習塾 | 2. 通信教育 | 3. 英会話 |
| 4. 習字・そろばん | 5. 音楽・絵画 | 6. スポーツ・ダンス |
| 7. その他() | | 8. 特に行っていない |

問17 学生ボランティア等による、無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 現在利用している | 2. 今後利用したいと思う | 3. 利用するつもりはない |
|-------------|---------------|---------------|

問18 子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 低い家賃で住めるところ(寮や下宿のようなどころ)
3. 生活や就学のための経済的補助
4. 進路や生活などについてなんでも相談できるところ
5. 仲間と出会え、一緒に活動できるところ
6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供
7. 地域における子どもの居場所の提供
8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
9. 会社などでの職場体験等の機会
10. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
11. その他()
12. 特にない
13. よくわからない

げんざい く じょうきょう
現在の暮らしの状況についておたずねします

とひ げんざい す ちく おし ばんごう
問19 現在のお住まいの地区についてお教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|----------------|
| 1. つるみく
鶴見区 | 2. かながわく
神奈川区 | 3. にしく
西区 | 4. なかく
中区 |
| 5. みなみく
南区 | 6. こうなんく
港南区 | 7. ほどがやく
保土ヶ谷区 | 8. あさひく
旭区 |
| 9. いそごく
磯子区 | 10. かなざわく
金沢区 | 11. こうほくく
港北区 | 12. みどりく
緑区 |
| 13. あおばく
青葉区 | 14. つづきく
都筑区 | 15. とつかく
戸塚区 | 16. きかく
栄区 |
| 17. いずみく
泉区 | 18. せやくく
瀬谷区 | | |

とひ げんざい じゅうきょう じょうきょう おし ばんごう
問20 現在の住居の状況についてお教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. もちいえ
持家 | 2. しえい けんえいじゅうたく
市営・県営住宅 | 3. こうしゃ こうだん ちんたい
公社・公団(UＲ)の賃貸 |
| 4. しゃたく
社宅 | 5. しゃくや
借家 | 6. まがり
間借 |
| 7. その他(具体的に:) | | |

とひ げんざい く じょうきょう そうごうまき かん ばんごう
問21 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|---------------------|-------------|-------|----------|---------------------|
| 1. たいへん
大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 | 4. やや苦しい | 5. たいへん苦しい
大変苦しい |
|---------------------|-------------|-------|----------|---------------------|

とひ せたい さくねん ねんかん へいせい ねん がつ にち がつ にち きかん つぎ かたち しょとく
問22 あなたの世帯では、昨年1年間(平成26年1月1日～12月31日の期間)で、次のような形での所得はありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|------------------------------|---------------------------------|--|
| 1. おや しんぞく しおく
親・親族からの仕送り | 2. もとはいぐうしや よういくひ
元配偶者からの養育費 | 3. いぞく き そ ねんきん いぞくこうせいねんきん
遺族基礎年金・遺族厚生年金 |
| 4. せいかつ ほご
生活保護 | 5. じどうふようてあて
児童扶養手当 | 6. いずれも該当しない |

とひ せたい さくねん ねんかん へいせい ねん がつ にち がつ にち きかん しょとく ごうけい ぜいこ
問23 あなたの世帯の昨年1年間(平成26年1月1日～12月31日の期間)の所得の合計(税込み)はいくらですか。(金額を回答欄の中にご記入ください)

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。
※働いて得た所得だけでなく、各種手当を含めた金額を教えてください。なお、手当が支給されている方は、年間の支給額になります。1年分の金額を計算して記入してください。
(例: 毎月支給のある方は、1か月の支給額×12か月分になります)

せたいいんぜんいん ねんかん しょとく ごうけい ぜいこ 世帯員全員の年間の所得の合計(税込み)	まんえん 万円
---	------------

必要な支援等についておたずねします

問24 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
8. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
9. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
10. 一時的に必要となる資金を借りられること
11. その他 ()
12. わからない

問25 子どものことや仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3. メールマガジンで定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する
4. 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5. 相談窓口等の数を多くする
6. 相談窓口等の場所をわかりやすくする
7. 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする
8. 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
9. 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
10. 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
11. 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
12. 病院で具体的な助言等が受けられるようにする
13. 「こんにちは赤ちゃん訪問」などの子育て世帯に対する訪問事業を充実させる
14. 乳幼児健康診査を充実させる
15. その他 ()
16. わからない

問26 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(下の枠の中に書いてください)

.....

.....

アンケートは以上で終わりです。ありがとうございました。

横浜市 子どものいる世帯の生活状況等に関する調査

中学生・高校生向け調査 調査票

- このアンケートは、中学生・高校生の皆さんの学校や家での生活の様子、進路など将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- このアンケートの結果などを参考に、横浜市の子どもの青少年の施策に関する計画づくりや、よりよい支援策について検討していきます。
- それぞれの質問について、次の例のようなかたちでお答えください。

例1 あなたの考えについて、次の(ア)～(イ)について教えてください。

(ア) 本を読むことが好きだ (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

(イ) スポーツをすることが好きだ (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

例2 次のうち、あなたが飼っている生物を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. イヌ 2. ネコ 3. ウサギ 4. 鳥

5. 魚 6. ハムスター 7. その他 (カ メ) 8. 生物は飼っていない

- お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 印のつけかたは、質問文の終わりに「○は1つ」や「○はいくつでも」などと書いてありますので、それにしてください。
- 「その他」を選んだ場合には、() の中に、具体的な内容を書いてください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- 名前は書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに教えてください。
- 書き終えたら、同封の返信用封筒に入れ、封をして、ポストに入れてください。(切手を貼る必要はありません)

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子 2. 女子

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 11歳以下	2. 12歳	3. 13歳	4. 14歳
5. 15歳	6. 16歳	7. 17歳	8. 18歳
9. 19歳	10. 20歳以上		

問3 あなたが現在通っている学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学校 2. 中学校 3. 高校

4. その他 () 5. 学校には行っていない

あなたの家族のことなどについておたずねします

問11 あなたと現在一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | | |
|--------------|---------|----------|----------|
| 1. お母さん | 2. お父さん | 3. おばあさん | 4. おじいさん |
| 5. お兄さん | 6. お姉さん | 7. 弟 | 8. 妹 |
| 9. その他の人 () | | | |

問12 あなたの家庭では、次の(ア)(イ)のようなことがどれくらいありますか。

(ア) 家族で買い物に出かけること (あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

(イ) 勉強を覚えてもらうこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

問13 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | |
|-----------------------|
| 1. 家族のだんらんや会話が少ない |
| 2. 親が厳しすぎる |
| 3. 親が自分の気持ちをわかってくれない |
| 4. 親との仲が悪い |
| 5. 親同士の仲が悪い |
| 6. きょうだいとの仲が悪い |
| 7. 家で落ち着いて勉強できる環境がない |
| 8. 病気の人やお年寄りの世話が大変である |
| 9. 食べるごはんがないときがある |
| 10. 着る服が少ない |
| 11. 家の中がちらかっている |
| 12. 家にお金がない (少ない) |
| 13. その他 () |
| 14. 特に困っていることや嫌なことはない |

問14 あなたのまわりには、親以外で、次のような大人はいますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 信頼できる人 | 2. 気軽に相談できる人 |
| 3. 尊敬できる人 | 4. 自分のことを大切にしてくれる人 |
| 5. 道で会ったらあいさつをしてくれる人 | 6. 勉強をわかりやすく教えてくれる人 |
| 7. 特にいない | |

問19 あなたは、これまでに、不登校ふとうこうになったことはありますか。(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

1. ない
2. ある (現在不登校げんざいふとうこうである)
3. ある (過去かこに不登校ふとうこうであった)

問20 あなたは、希望きぼうとしては、将来しやうらいどの学校がっこうまで行きたいと思おもいますか。(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

- | | |
|--|---|
| 1. 中学校 <small>ちゅうがっこう</small> | 2. 高校 <small>こうこう</small> (全日制高校 <small>ぜんにちせいこうこう</small>) |
| 3. 高校 <small>こうこう</small> (定時制高校 <small>ていじせいこうこう</small>) | 4. 高校 <small>こうこう</small> (通信制高校 <small>つうしんせいこうこう</small>) |
| 5. 専門学校 <small>せんもんがっこう</small> (専修学校 <small>せんしゅうがっこう</small> ・各種学校 <small>かくしゆがっこう</small>) | 6. 高等専門学校 <small>こうとうせんもんがっこう</small> (高専 <small>こうせん</small>) |
| 7. 短期大学 <small>たんきだいがく</small> | 8. 大学 <small>だいがく</small> |
| 9. 大学院 <small>だいがくいん</small> | 10. その他 () |
| 11. 考えたことがない <small>かんが</small> | 12. わからない |

問21 あなたは、現実げんじつとしては、将来しやうらいどの学校がっこうまで行くことになると思おもいますか。(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

- | | |
|--|---|
| 1. 中学校 <small>ちゅうがっこう</small> | 2. 高校 <small>こうこう</small> (全日制高校 <small>ぜんにちせいこうこう</small>) |
| 3. 高校 <small>こうこう</small> (定時制高校 <small>ていじせいこうこう</small>) | 4. 高校 <small>こうこう</small> (通信制高校 <small>つうしんせいこうこう</small>) |
| 5. 専門学校 <small>せんもんがっこう</small> (専修学校 <small>せんしゅうがっこう</small> ・各種学校 <small>かくしゆがっこう</small>) | 6. 高等専門学校 <small>こうとうせんもんがっこう</small> (高専 <small>こうせん</small>) |
| 7. 短期大学 <small>たんきだいがく</small> | 8. 大学 <small>だいがく</small> |
| 9. 大学院 <small>だいがくいん</small> | 10. その他 () |
| 11. 考えたことがない <small>かんが</small> | 12. わからない |

(問22は、問20と問21でお答えいただいた、「希望きぼう」と「現実げんじつ」が異なる場合ばあいについてお聞きします)

問22 希望きぼうと現実げんじつが異なると思おもえるのはなぜですか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください)

- | | |
|---|---|
| 1. 自分の学力 <small>じぶん がくりよく</small> から考 <small>かんが</small> えて | 2. 保護者 <small>ほごしや</small> がそう希望 <small>きぼう</small> しているから |
| 3. 兄 <small>あに</small> ・姉 <small>あね</small> がそうしているから | 4. 周 <small>まわ</small> りの先輩 <small>せんぱい</small> や友達 <small>ともだち</small> がそうしているから |
| 5. 家 <small>いえ</small> に経済 <small>けいぎ</small> 的な余 <small>い</small> 裕 <small>よゆう</small> がないから | 6. できるだけ早 <small>はや</small> く働 <small>はたら</small> く必要 <small>ひつよう</small> があるから |
| 7. どうすれば進学 <small>しんがく</small> できるのかよくわからないから | 8. その他 () |
| 9. 特 <small>とく</small> に理由 <small>りゆう</small> はない | |

あなたが普段考えていることについておたずねします

問23 あなたは、この1週間で、次の(ア)～(ウ)のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。

(ア) 悲しいと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

(イ) ゆううつだと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

(ウ) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

問24 あなたが普段考えていることについて、次の(ア)～(カ)について教えてください。

(ア) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 自信がある 2. どちらかという自信がある
3. どちらかという自信がない 4. 自信がない

(イ) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. できる 2. どちらかというとできる
3. どちらかというとできない 4. できない

(ウ) 人は信用できないと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う 2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

(エ) 自分の将来について明るい希望を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている 2. どちらかというと持っている
3. どちらかというと持っていない 4. 持っていない

(オ) 将来のためにも、今がんばりたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う 2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

(カ) 将来、一生懸命働きたい (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 働きたい 2. どちらかという働きたい
3. どちらかという働きたくない 4. 働きたくない

問25 あなたが悩んでいるときに、相談に乗ってくれる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 家族 | 2. 親戚 (おじさん、おばさん、いとこなど) |
| 3. 学校の先生 | 4. 塾や習い事の先生 |
| 5. 学校の友だち | 6. その他の友だち |
| 7. その他の人 () | 8. 誰にも相談したくない |
| 9. 誰にも相談できない | |

問26 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 家族のこと |
| 2. 学校の勉強のこと |
| 3. 友人関係 |
| 4. 進学のこと |
| 5. 就職のこと |
| 6. その他のこと () |
| 7. 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない |

問26-1 差し支えない範囲で、あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることを具体的に教えてください。(下の枠の中に書いてください)

--

アンケートはこれで終わりです。
最後に書き忘れがないか、もう一度確認してください。ありがとうございました。

横浜市 子どものいる世帯の生活状況等に関する調査 中学生・高校生向け調査 調査票

- このアンケートは、中学生・高校生の皆さんの学校や家での生活の様子、進路など将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- このアンケートの結果などを参考に、横浜市の子ども・青少年の施策に関する計画づくりや、よりよい支援策について検討していきます。
- それぞれの質問について、次の例のようなかたちでお答えください。

例1 あなたの考えについて、次の（ア）～（イ）について教えてください。

（ア）本を読むことが好きだ（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

（イ）スポーツをすることが好きだ（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

例2 次のうち、あなたが飼っている生物を教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. イヌ 2. ネコ 3. ウサギ 4. 鳥

5. 魚 6. ハムスター 7. その他（カメ） 8. 生物は飼っていない

- お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 印のつけかたは、質問文の終わりに「○は1つ」や「○はいくつでも」などと書いてありますので、それにしてください。
- 「その他」を選んだ場合には、（ ）の中に、具体的な内容を書いてください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- 名前は書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに教えてください。
- 書き終えたら、同封の返信用封筒に入れ、封をして、施設の職員の人に渡してしてください。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 男子 2. 女子

問2 あなたの年齢を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 11歳以下 2. 12歳 3. 13歳 4. 14歳

5. 15歳 6. 16歳 7. 17歳 8. 18歳

9. 19歳 10. 20歳以上

問3 あなたが現在通っている学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 小学校 2. 中学校 3. 高校

4. その他（ ） 5. 学校には行っていない

がっこう べんきょう
学校のことや勉強のことについておたずねします

問7 あなたは学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。塾などの時間も含まれます。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. まったくしない | 2. 15分より少ない | 3. 15分～30分 |
| 4. 30分～1時間 | 5. 1時間～2時間 | 6. 2時間より多い |

問8 あなたの成績は、学年の中でどのくらいですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1. 上のほう | 2. やや上のほう | 3. まん巾あたり |
| 4. やや下のほう | 5. 下のほう | 6. どれにもあてはまらない |

問9 学校生活のことについて、次の（ア）～（ウ）について教えてください。

（ア）学校の授業がよくわかっている（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. よくわかっている | 2. まあわかっている |
| 3. あまりわかっていない | 4. わかっていない |

（イ）先生との関係がうまくいっている（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. うまくいっている | 2. まあうまくいっている |
| 3. あまりうまくいっていない | 4. うまくいっていない |

（ウ）友だちとの関係がうまくいっている（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. うまくいっている | 2. まあうまくいっている |
| 3. あまりうまくいっていない | 4. うまくいっていない |

問10 あなたは、学校のことについて、何か望んでいることはありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|---|
| 1. 勉強をもっとわかりやすく教えてほしい |
| 2. 部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを充実してほしい |
| 3. 学校行事を充実してほしい |
| 4. 友だちと話せる楽しい雰囲気してほしい |
| 5. いじめをなくしてほしい |
| 6. 先生がもっと自分のことを理解してほしい |
| 7. 進路のことについてわかりやすく教えてほしい |
| 8. 就職に関する支援を充実してほしい |
| 9. 悩み事などを相談できるようにしてほしい |
| 10. 現在通っている学校のこと（学費、教材費、クラブ活動費等）でお金がかからないようにしてほしい |
| 11. 進学にあたってお金がかからないようにしてほしい |
| 12. その他（
） |
| 13. 特に望んでいることはない |

問11 あなたは、これまでに、不登校になったことはありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ない
2. ある (現在不登校である)
3. ある (過去に不登校であった)

問12 あなたは、希望としては、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 (全日制高校) |
| 3. 高校 (定時制高校) | 4. 高校 (通信制高校) |
| 5. 専門学校 (専修学校・各種学校) | 6. 高等専門学校 (高専) |
| 7. 短期大学 | 8. 大学 |
| 9. 大学院 | 10. その他 () |
| 11. 考えたことがない | 12. わからない |

問13 あなたは、現実としては、将来どの学校まで行くことになると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 (全日制高校) |
| 3. 高校 (定時制高校) | 4. 高校 (通信制高校) |
| 5. 専門学校 (専修学校・各種学校) | 6. 高等専門学校 (高専) |
| 7. 短期大学 | 8. 大学 |
| 9. 大学院 | 10. その他 () |
| 11. 考えたことがない | 12. わからない |

(問14は、問12と問13でお答えいただいた、「希望」と「現実」が異なる場合についてお聞きします)

問14 希望と現実が異なると考えるのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自分の学力から考えて | 2. 児童養護施設職員がそう希望しているから |
| 3. 周りの先輩や友達がそうしているから | 4. 家に経済的な余裕がないから |
| 5. できるだけ早く働く必要があるから | 6. どうすれば進学できるのかよくわからないから |
| 7. その他 () | 8. 特に理由はない |

あなたが普段考えていることについておたずねします

問15 あなたは、この1週間で、次の(ア)～(ウ)のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。

(ア) 悲しいと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

(イ) ゆううつだと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

(ウ) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくなかった 2. 週に1～2日 3. 週に3～4日 4. 週に5日以上

問16 あなたが普段考えていることについて、次の(ア)～(カ)について教えてください。

(ア) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 自信がある 2. どちらかという自信がある
3. どちらかという自信がない 4. 自信がない

(イ) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. できる 2. どちらかというとできる
3. どちらかというとできない 4. できない

(ウ) 人は信用できないと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う 2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

(エ) 自分の将来について明るい希望を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている 2. どちらかというと持っている
3. どちらかというと持っていない 4. 持っていない

(オ) 将来のためにも、今がんばりたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う 2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

(カ) 将来、一生懸命働きたい (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 働きたい 2. どちらかという働きたい
3. どちらかという働きたくない 4. 働きたくない

問17 あなたが悩んでいるときに、相談に乗ってくれる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 児童養護施設職員 | 2. 親戚 (おじさん、おばさん、いとこなど) |
| 3. 学校の先生 | 4. 塾や習い事の先生 |
| 5. 学校の友だち | 6. その他の友だち |
| 7. その他の人 () | 8. 誰にも相談したくない |
| 9. 誰にも相談できない | |

問18 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 家族のこと | 2. 学校の勉強のこと |
| 3. 友人関係 | 4. 進学のこと |
| 5. 就職のこと | 6. 施設退所後の住居のこと |
| 7. 施設退所後のお金のこと | 8. 施設退所後の生活全般のこと |
| 9. その他 () | |
| 10. 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない | |

問18-1 差し支えない範囲で、あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることを具体的に教えてください。(下の枠の中に書いてください)

アンケートはこれで終わりです。
最後に書き忘れがないか、もう一度確認してください。ありがとうございました。

2 計画策定の経過

(1) 横浜市子どもの貧困対策に関する計画策定連絡会

ア 構成

平成 27 年 7 月に、社会福祉や子どもの貧困を専門とする、学識経験者や困難を抱える子どもや家庭を支援する取組を行っている団体、本市の事業を受託している法人及び、行政職員等 25 人をメンバーとした「横浜市子どもの貧困対策に関する計画策定連絡会」を立ち上げ、実態把握のための調査内容をはじめ、計画骨子、素案及び計画原案に対し、御意見をいただきました。

イ 全体会及び分科会

効果的・効率的な意見交換等を行うため、全体会と二つの分科会を設けて御意見をいただきました。

①全体会

- ・実態把握のための調査に関する調査項目等に対する助言
- ・分科会における意見交換等の結果の共有及び分科会における意見交換等に対する助言
- ・計画全般に対する助言及び計画策定全体の枠組みに対する助言
- ・支援に関する事業・取組の実施に対する助言

②分科会

a 学校・福祉連携分科会

学齢期の子どもや青少年、若者への支援について、学校と福祉の連携の視点等を中心に意見交換を行います。

- ・計画全般に対する助言及び計画策定全体の枠組みに対する助言
- ・支援に関する事業・取組の実施に対する助言

b 生活・自立支援・子どもの育ち分科会

妊娠期から未就学の子どもや保護者、社会的擁護を必要とする子どもへの支援について、生活や自立支援、子どもの育ち等の視点を中心に意見交換を行います。

- ・計画全般に対する助言及び計画策定全体の枠組みに対する助言
- ・支援に関する事業・取組の実施に対する助言

ウ 委員

(有識者・支援団体等)

(50 音順、敬称略)

	氏名	所属・役職等	分科会
1	アオト 青砥 恭	特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット代表	学校・福祉連携
2	アベ 阿部 彩	首都大学都市教養学部社会学コース社会福祉学教授	学校・福祉連携
3	イワモト 岩本 マミ 真実	K2インターナショナルグループ 湘南・横浜若者サポートステーション統括コーディネーター	学校・福祉連携
4	カシワ 柏 カヨコ かよ子	横浜市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会 副代表	生活・自立支援・ 子どもの育ち
5	タカハシ 高橋 トシカズ 利一	社会福祉法人至誠学舎立川顧問 至誠学園名誉学園長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
6	ハマダ 濱田 シズエ 静江	児童家庭支援センターむつみの木センター長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
7	ミスチニ 水谷 ヒロコ 裕子	特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク 理事長	学校・福祉連携
8	ミヤケ 三宅 レイコ 玲子	公益社団法人家庭問題情報センター横浜ファミリー相談室	生活・自立支援・ 子どもの育ち
9	ミヤシタ 宮下 ケイコ 慧子	母子生活支援施設カサ・デ・サンタマリア施設長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
10	ムラタ 村田 ヨシオ 由夫	一般社団法人横浜市私立保育園園長会会長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
11	ユザワ 湯澤 ナオミ 直美	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授	生活・自立支援・ 子どもの育ち
12	ワタナベ 渡辺 ヒデノリ 英則	認定こども園ゆうゆうのもり幼保園園長	生活・自立支援・ 子どもの育ち

(行政職員)

(機構順、敬称略)

	氏名	所属・役職等	分科会
1	ヤマモト 山本 ヒロコ 弘庫	港南区こども家庭支援課長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
2	タカイワ 高岩 キョウコ 恭子	横浜市東滝頭保育園園長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
3	セキノ 関野 ショウゾウ 昌三	港北区生活支援課長	学校・福祉連携
4	シマダ 島田 カズヒサ 和久	こども青少年局副局長	学校・福祉連携 生活・自立支援・子どもの育ち
5	ウチダ 内田 タロウ 太郎	こども青少年局青少年相談センター所長	学校・福祉連携
6	タニグチ 谷口 チヒロ 千尋	こども青少年局こども家庭課長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
7	カワジリ 川尻 モトハル 基晴	こども青少年局三春学園長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
8	シミズ 清水 タカノリ 孝教	こども青少年局北部児童相談所長	学校・福祉連携
9	キリュウ 霧生 テツオ 哲央	健康福祉局生活支援課長	生活・自立支援・ 子どもの育ち
10	ミヤオ 宮生 カズロウ 和郎	横浜市立子安小学校校長	学校・福祉連携

	氏名	所属・役職等	分科会
11	スズキ アツシ 鈴木 厚	横浜市立新田中学校校長	学校・福祉連携
12	アマノ シント 天野 真人	横浜市立横浜総合高等学校長	学校・福祉連携
13	カマチ ケイコ 蒲地 啓子	教育委員会事務局東部学校教育事務所指導主事室長	学校・福祉連携

◎全体会進行役、○分科会進行役

エ 開催状況

	日程	議題
第1回 〈全体会〉	平成27年 7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市の子どもの貧困対策に関する計画の策定について ●子どもの貧困対策に関する意見交換 ●実態把握のための調査の実施について
第2回 〈全体会 及び 分科会〉	平成27年 10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●実態把握のための調査実施結果速報について ●横浜市の子どもの貧困対策に関する計画（仮称）骨子（案）について
第3回 〈全体会 及び 分科会〉	平成27年 11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ●実態把握のための調査実施結果について ●横浜市の子どもの貧困対策に関する計画（仮称）素案（案）について
第4回 〈全体会 及び 分科会〉	平成28年 2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度予算案における取組について ●計画原案（案）について ●平成28年度以降の計画推進について

(2) 子どもの貧困対策に関する計画の策定に係る庁内検討会

ア 構成

平成27年5月に、区役所、こども青少年局、教育委員会事務局、健康福祉局、政策局の関係課による課長級の「子どもの貧困対策に関する計画の策定に係る庁内検討会」を立ち上げ、実態把握のための調査の内容検討をはじめ、計画骨子、素案及び計画原案の検討を行いました。

こども青少年局	企画調整課、こども家庭課、青少年育成課、放課後児童育成課、子育て支援課、保育・教育運営課、障害児福祉保健課、保育・教育人材課、中央児童相談所
教育委員会事務局	教育政策推進課、学校支援・地域連携課、指導企画課、人権教育・児童生徒課、高校教育課、東部学校教育事務所指導主事室
健康福祉局	企画課、生活支援課、医療援助課
政策局	政策課
区役所	こども家庭支援課(港南区・瀬谷区)、生活支援課(港北区)

イ 開催状況

	日程	議題
第1回	平成27年 5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ●実態把握のための調査等について ●国の大綱で定める指標と本市の状況について ●計画策定による成果等のイメージについて ●策定連絡会委員構成及び委員(案)について
第2回	平成27年 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの貧困対策に関する計画策定の考え方について(案) ●調査①(市民アンケート)の実施方法及び調査項目について ●策定連絡会委員構成及び委員について ●調査②(貧困状態の子どもや家庭の状況、生活像等の把握のための調査)のヒアリング先について ●調査③(横浜市における事業検討のための調査)関連資料の分析状況について
第3回	平成27年 10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●支援者ヒアリング結果(案)について ●本市における事業検討のための調査関連資料の分析状況について ●子どもの貧困対策に関する計画骨子(案)について

	日程	議題
第4回	平成27年 11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●市民アンケート調査実施結果報告(案)について ●支援者ヒアリング及び対象者アンケート調査実施結果報告(案)について ●子どもの貧困対策に関する計画素案(案)について
第5回	平成28年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの貧困対策に関する平成28年度予算案の重点施策 ●市民意見募集結果(速報値)、市民意見一覧 ●計画原案について ●計画策定連絡会について ●平成28年度の取組について

(3) 市民意見募集の実施

ア 実施概要

(ア) 実施期間

平成 27 年 12 月 21 日（月）～平成 28 年 1 月 15 日（金）

(イ) 周知方法

○素案冊子（約 750 部）及び概要版リーフレット（約 15,000 部）の配布
市役所、区役所、保育所、幼稚園、地域子育て支援拠点、青少年活動拠点等において配布、閲覧に供しました。

○関係団体への個別説明

民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会児童福祉部会、私立保育園園長会、幼稚園協会運営委員会、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校長会へ、計画内容及び市民意見募集の実施について説明を行いました。

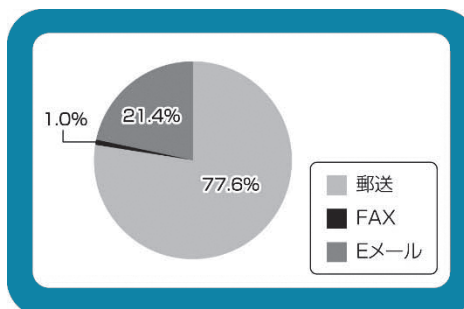
○市ホームページ及び広報よこはま（12月号）への掲載

イ 意見募集結果

市民のみなさまから、98 通、162 件のご意見が寄せられました。

(ア) 提出方法

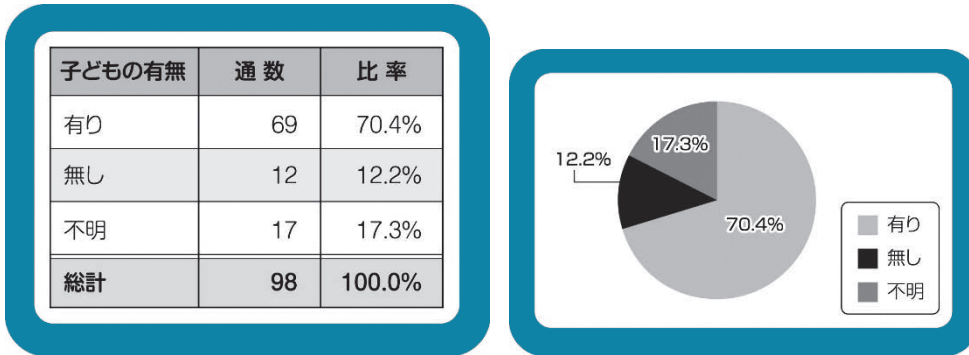
提出方法	通数	比率
郵送	76	77.6%
FAX	1	1.0%
Eメール	21	21.4%
総計	98	100.0%



(イ) 年齢階層・男女別の提出数

年齢層	通数			比率		
	女性	男性	不明	女性	男性	不明
20歳代	3	2	0	4.4%	7.4%	0.0%
30歳代	9	5	0	13.2%	18.5%	0.0%
40歳代	15	1	0	22.1%	3.7%	0.0%
50歳代	22	0	0	32.4%	0.0%	0.0%
60歳代	7	11	0	10.3%	40.7%	0.0%
70歳代	3	3	0	4.4%	11.1%	0.0%
80歳代	1	0	0	1.5%	0.0%	0.0%
不明	8	5	3	11.8%	18.5%	100.0%
総計	68	27	3	100.0%	100.0%	100.0%

(ウ) 子どもの有無別の提出数



(エ) 施策体系別意見数

施策体系等		意見件数	比率
第3章	子どもの貧困対策における取組の視点	12	7.4%
第4章	本市のこどもの貧困対策	5	3.1%
第5章	子どもの豊かな成長を支える教育、保育の推進	10	6.2%
	施策1 気づく・つなぐ・見守る	22	13.6%
	施策2 子どもの育ち・成長を守る	26	16.0%
	施策3 貧困の連鎖を断つ	18	11.1%
	施策4 困難を抱える若者の力を育む	10	6.2%
	施策5 生活基盤を整える	19	11.7%
第6章	計画の推進	19	11.7%
計画全般・その他		21	13.0%
合計		162	100.0%

(ウ) 御意見への対応状況

意見の分類	主な意見	比率	
素案を修正したものの	地域の取組に対する支援や民間との連携等が必要	5件	17件
	市民一人ひとりが自分のできることを発揮できるとよい	2件	
	低所得世帯では、子どもの障害について発見が遅れたり、見過ごされたりする可能性がある	1件	
	支援者は、支援が必要な人とそうでない人を的確に判断することが必要	1件	
	子どもを中心とした支援を行うことが必要	1件	
	キーパーソンの育成や支援に関わる人を増やす取組が必要	1件	
	その他	6件	
素案に賛同いただいたものの	学習支援や子どもの居場所づくりの取組の充実が必要	8件	44件
	支援につながっていない子ども・家庭に気づくことが重要	4件	
	困難を抱える家庭等に情報がきちんと届くようにするべき	4件	
	その他	28件	
計画推進の参考とさせていただくもの等	子どもたちが多く利用する場（地区センター等）を、困難を抱える子どもに気づく場等として一層活用するべき	2件	101件
	その他	99件	
合計		162件	

(カ) 御意見を反映し、素案から修正した主な内容

主な意見	修正・追加内容
<ul style="list-style-type: none"> ●地域の取組に対する支援や民間との連携等が必要 ●市民一人ひとりが自分のできることを発揮できるとよい 	<p>【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画の推進にあたり、きめ細かで具体的な支援を展開するためには、地域の主体的な取組や民間と連携した取組を進めていくことや、市民一人ひとりが子どもの貧困に対する理解を深め、それぞれができることから取り組むことが重要です。(90ページ) ●(「子ども食堂の取組」のコラムを追加) (91ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ●低所得世帯では、子どもの障害について発見が遅れたり、見過ごされたりする可能性がある 	<p>【追加】</p> <p>何らかの事情で支援制度の適用条件にあてはまらない所得の低い世帯、(中略)。このような世帯では、子どもの成長の小さなつまづきに気づきにくかったり、場合によっては、障害の可能性が見過ごされることもあります。(49ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●支援者は、支援が必要な人とそうでない人を的確に判断することが必要 ●子どもを中心とした支援を行うことが必要 	<p>【追加】</p> <p>子どもの貧困に対する感度や支援のスキルを高めるとともに、「子ども・青少年にとって」の視点に立ち、子ども・若者、家庭と関わっていくことが重要です。(90ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●支援のキーパーソンの育成や支援に関わる人を増やす取組が必要 	<p>【追加】</p> <p>地域において、支援に関わる機関のネットワークづくりや、支援に関わる人を増やす取組が円滑に進むような仕組みづくりについても、計画推進の中で検討を進めます。(90ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●計画の対象について、保護者の状態を指す表現(妊娠期)と子どもの成長段階を指す表現が混在している 	<p>【追加】</p> <p>妊娠期から大学等を卒業した後の自立に向けた支援を含め概ね20代前半までの子ども・若者とその家庭</p> <p>【修正後】</p> <p>生まれる前から大学等を卒業した後の自立に向けた支援を含め概ね20代前半までの子ども・若者とその家庭(6ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●計画の進ちよく状況の把握について、漠然とした目標、具体策がわかりにくい 	<p>【追加】</p> <p>本市計画は、子どもの育ちや成長を守り、貧困が連鎖することを防ぐために、実効性の高い施策を展開していくことや支援が確実に届く仕組みをつくることを目的としています。</p> <p>このため、計画の進ちよく状況は、計画に位置付ける取組全体を推進することで、子どもの貧困状態の改善に資する環境を実現できているかの視点や、取組の結果として、子ども・若者の自立に向けた基盤が育まれているかにより把握していきます。(61ページ)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ●施策を推進するために全庁的に統括する体制をつくること 	<p>【追加】 <u>こども青少年局、健康福祉局、教育委員会事務局等の関係区局による庁内の連絡会議や、支援者や有識者等による会議の開催により、計画のPDCAサイクルを確保するとともに、関係者間の連携を図りながら総合的な対策を進めます。</u> (90ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●具体的にどのように改善されていくのか、わかりやすいものであるとよい 	<p>【追加】 (子どもの貧困の状況や、貧困状態に起因したり、関連する諸課題については、「第2章 本市の子どもの貧困の状況」において整理し、第3章以下の内容をまとめていますが、御意見を踏まえ、計画のづくりや、課題と解決に向けた取組について改めて整理したページを追加しました。) (10ページ)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市の子どもは県立高校へも数多く進学するため、計画推進に関し県立高校等との連携について位置付けることが必要 	<p>【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例えば、食事の提供を含む子どもの居場所や高校生への地域等による学習支援等の新たな支援策、団体や民間企業等新たな支援の担い手や、すでに行われている支援機関・団体と県立・市立高校との連携等の取組手法、アウトリーチによる支援等についても、地域の自主的な取組や他都市の取組情報収集等を行い、本市の状況を踏まえ検討を進めることが必要です。(90ページ) ●(「高校と支援機関等との連携」のコラムを追加) (84ページ)

3 関係法令等

(1) 子どもの貧困対策の推進に関する法律（平成 25 年法律第 64 号）

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

（基本理念）

第二条 子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない。

2 子どもの貧困対策は、国及び地方公共団体の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行われなければならない。

（国の責務）

第三条 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、子どもの貧困対策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、子どもの貧困対策に関し、国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（国民の責務）

第五条 国民は、国又は地方公共団体が実施する子どもの貧困対策に協力するよう努めなければならない。

（法制上の措置等）

第六条 政府は、この法律の目的を達成するため、必要な法制上又は財政上の措置その他の措置を講じなければならない。

（子どもの貧困の状況及び子どもの貧困対策の実施の状況の公表）

第七条 政府は、毎年一回、子どもの貧困の状況及び子どもの貧困対策の実施の状況を公表しなければならない。

第二章 基本的施策

(子どもの貧困対策に関する大綱)

第八条 政府は、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、子どもの貧困対策に関する大綱（以下「大綱」という。）を定めなければならない。

2 大綱は、次に掲げる事項について定めるものとする。

一 子どもの貧困対策に関する基本的な方針

二 子どもの貧困率、生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率等子どもの貧困に関する指標及び当該指標の改善に向けた施策

三 教育の支援、生活の支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援その他の子どもの貧困対策に関する事項

四 子どもの貧困に関する調査及び研究に関する事項

3 内閣総理大臣は、大綱の案につき閣議の決定を求めなければならない。

4 内閣総理大臣は、前項の規定による閣議の決定があったときは、遅滞なく、大綱を公表しなければならない。

5 前二項の規定は、大綱の変更について準用する。

6 第二項第二号の「子どもの貧困率」及び「生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率」の定義は、政令で定める。

(都道府県子どもの貧困対策計画)

第九条 都道府県は、大綱を勘案して、当該都道府県における子どもの貧困対策についての計画（次項において「計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

2 都道府県は、計画を定め、又は変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

(教育の支援)

第十条 国及び地方公共団体は、就学の援助、学資の援助、学習の支援その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとする。

(生活の支援)

第十一条 国及び地方公共団体は、貧困の状況にある子ども及びその保護者に対する生活に関する相談、貧困の状況にある子どもに対する社会との交流の機会の提供その他の貧困の状況にある子どもの生活に関する支援のために必要な施策を講ずるものとする。

(保護者に対する就労の支援)

第十二条 国及び地方公共団体は、貧困の状況にある子どもの保護者に対する職業訓練の実施及び就職のあっせんその他の貧困の状況にある子どもの保護者の自立を図るための就労の支援に関し必要な施策を講ずるものとする。

(経済的支援)

第十三条 国及び地方公共団体は、各種の手当等の支給、貸付金の貸付けその他の貧困の状況にある子どもに対する経済的支援のために必要な施策を講ずるものとする。

(調査研究)

第十四条 国及び地方公共団体は、子どもの貧困対策を適正に策定し、及び実施するため、子どもの貧困に関する調査及び研究その他の必要な施策を講ずるものとする。

第三章 子どもの貧困対策会議

(設置及び所掌事務等)

第十五条 内閣府に、特別の機関として、子どもの貧困対策会議（以下「会議」という。）を置く。

2 会議は、次に掲げる事務をつかさどる。

一 大綱の案を作成すること。

二 前号に掲げるもののほか、子どもの貧困対策に関する重要事項について審議し、及び子どもの貧困対策の実施を推進すること。

3 文部科学大臣は、会議が前項の規定により大綱の案を作成するに当たり、第八条第二項各号に掲げる事項のうち文部科学省の所掌に属するものに関する部分の素案を作成し、会議に提出しなければならない。

4 厚生労働大臣は、会議が第二項の規定により大綱の案を作成するに当たり、第八条第二項各号に掲げる事項のうち厚生労働省の所掌に属するものに関する部分の素案を作成し、会議に提出しなければならない。

5 内閣総理大臣は、会議が第二項の規定により大綱の案を作成するに当たり、関係行政機関の長の協力を得て、第八条第二項各号に掲げる事項のうち前二項に規定するもの以外のものに関する部分の素案を作成し、会議に提出しなければならない。

(組織等)

第十六条 会議は、会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、内閣総理大臣をもって充てる。

3 委員は、会長以外の国務大臣のうちから、内閣総理大臣が指定する者をもって充てる。

4 会議の庶務は、内閣府において文部科学省、厚生労働省その他の関係行政機関の協力を得て処理する。

5 前各項に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、政令で定める。

附 則 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(検討)

第二条 政府は、この法律の施行後五年を経過した場合において、この法律の施行の状況を勘案し、必要があると認めるときは、この法律の規定について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

(2) 子供の貧困対策に関する大綱（概要）

目的・理念

- 子供の将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。
- 全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、子供の貧困対策を総合的に推進する。

基本的な方針

- 1 貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成を目指す。
- 2 第一に子供に視点を置いて、切れ目のない施策の実施等に配慮する。
- 3 子供の貧困の実態を踏まえて対策を推進する。
- 4 子供の貧困に関する指標を設定し、その改善に向けて取り組む。
- 5 教育の支援では、「学校」を子供の貧困対策のプラットフォームと位置付けて総合的に対策を推進するとともに、教育費負担の軽減を図る。
- 6 生活の支援では、貧困の状況が社会的孤立を深刻化させることのないよう配慮して対策を推進する。
- 7 保護者の就労支援では、家庭で家族が接する時間を確保することや、保護者が働く姿を子供に示すことなどの教育的な意義にも配慮する。
- 8 経済的支援に関する施策は、世帯の生活を下支えするものとして位置付けて確保する。
- 9 官公民の連携等によって子供の貧困対策を国民運動として展開する。
- 10 当面今後5年間の重点施策を掲げ、中長期的な課題も視野に入れて継続的に取り組む。

子供の貧困に関する指標

- 生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率 90.8%（平成 25 年）
 - 生活保護世帯に属する子供の高等学校等中退率 5.3%（平成 25 年）
 - 生活保護世帯に属する子供の大学等進学率 32.9%（平成 25 年）
 - 生活保護世帯に属する子供の就職率（中学校卒業後の進路：就職率 2.5%／高等学校等卒業後の進路：就職率 46.1%）（平成 25 年）
 - 児童養護施設の子供の進学率及び就職率（平成 25 年）（中学校卒業後：進学率 96.6%、就職率 2.1%／高等学校等卒業後：進学率 22.6%、就職率 69.8%）
 - ひとり親家庭の子供の就園率（保育所・幼稚園）72.3%（平成 23 年度）
 - ひとり親家庭の子供の進学率及び就職率（中学校卒業後：進学率 93.9%、就職率 0.8%／高等学校卒業後：進学率 41.6%、就職率 33.0%）（平成 23 年度）
 - スクールソーシャルワーカーの配置人数 1,008 人（平成 25 年度）／スクールカウンセラーの配置率小学校 37.6%、中学校 82.4%
- ※その他教育委員会等に 1,534 箇所配置（平成 24 年度）

- 就学援助制度に関する周知状況（平成 25 年度）（毎年度の進級時に学校で就学援助制度の書類を配付している市町村の割合 61.9%）（入学時に学校で就学援助制度の書類を配付している市町村の割合 61.0%）
- 日本学生支援機構の奨学金の貸与基準を満たす希望者のうち、奨学金の貸与を認められた者の割合（無利子・有利子）（平成 25 年度実績）（無利子：予約採用段階 40.0%、在学採用段階 100.0%／有利子：予約採用段階 100.0%、在学採用段階 100.0%）
- ひとり親家庭の親の就業率（平成 23 年度）（母子家庭の就業率 80.6%（正規 39.4%、非正規 47.4%）／父子家庭の就業率 91.3%（正規 67.2%、非正規 8.0%））
- 子供の貧困率 16.3%（平成 24 年）
- 子供がいる現役世帯のうち大人が一人の貧困率 54.6%（平成 24 年）

指標の改善に向けた当面の重点施策

教育の支援

- 「学校」をプラットフォームとした総合的な子供の貧困対策の展開
 - ・ 学校教育による学力保障／学校を窓口とした福祉関連機関等との連携／地域による学習支援／高等学校等における就学継続のための支援
- 貧困の連鎖を防ぐための幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上
- 就学支援の充実
 - ・ 義務教育段階の就学支援の充実／「高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）制度」などによる経済的負担の軽減／特別支援教育に関する支援の充実
- 大学等進学に対する教育機会の提供
 - ・ 高等教育の機会を保障するような奨学金制度等の経済的支援の充実／国公立私立大学生・専門学校生等に対する経済的支援
- 生活困窮世帯等への学習支援
- その他の教育支援
 - ・ 学生のネットワークの構築／夜間中学校の設置促進／子供の食事・栄養状態の確保／多様な体験活動の機会の提供

生活の支援

- 保護者の生活支援
 - ・ 保護者の自立支援／保育等の確保／保護者の健康確保／母子生活支援施設等の活用
- 子供の生活支援
 - ・ 児童養護施設等の退所児童等の支援／食育の推進に関する支援／ひとり親家庭や生活困窮世帯の子供の居場所づくりに関する支援
- 関係機関と連携した包括的な支援体制の整備
- 子供の就労支援
 - ・ ひとり親家庭の子供や児童養護施設等の退所児童等に対する就労支援／親の支援のない子供等への就労支援／定時制高校に通学する子供の就労支援／高校中退者等への就労支援

○支援する人員の確保

・社会的養護施設の体制整備、児童相談所の相談機能強化／相談職員の資質向上

○その他の生活支援

・妊娠期からの切れ目ない支援等／住宅支援

保護者に対する就労の支援

○親の就労支援

○親の学び直しの支援

○就労機会の確保

経済的支援

○児童扶養手当の公的年金との併給調整に関する見直し

○ひとり親家庭の支援施策についての調査・研究の実施に向けた検討

○母子福祉資金貸付金等の父子家庭への拡大

○教育扶助の支給方法

○生活保護世帯の子供の進学時の支援

○養育費の確保に関する支援

子供の貧困に関する調査研究等

○子供の貧困の実態等を把握・分析するための調査研究／子供の貧困に関する新たな指標開発に向けた調査研究／子供の貧困対策に関する情報の収集・蓄積、提供

施策の推進体制等

○国における推進体制

○地域における施策推進への支援

○官公民の連携・協働プロジェクトの推進、国民運動の展開

○施策の実施状況等の検証・評価

○大綱の見直し

(3) 子どもの貧困に関する本市の状況

指標	横浜市	全国
生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率	96.4% 全日制 58.4% 定時制 23.8% 通信制 7.3% 中等教育学校後期課程 0% 特別支援学校高等部 6.2% 高等専門学校 0% 専修学校の高等課程 0.7% 【平成 27 年 4 月 1 日現在】	90.8% 全日制 67.6% 定時制 11.5% 通信制 5.1% 中等教育学校後期課程 0.1% 特別支援学校高等部 4.9% 高等専門学校 0.7% 専修学校の高等課程 0.9% 【平成 25 年 4 月 1 日現在】
生活保護世帯に属する子供の高等学校等中退率	5.1% 【平成 26 年度現在】	5.3% 【平成 25 年度現在】
生活保護世帯に属する子供の大学等進学率	36.8% 大学等 19.2% 専修学校等 17.6% 【平成 27 年 4 月 1 日現在】	32.9% 大学等 19.2% 専修学校等 13.7% 【平成 25 年 4 月 1 日現在】
生活保護世帯に属する子供の就職率	中学校卒業後の進路 就職率 0.8% 【平成 27 年 4 月 1 日現在】	中学校卒業後の進路 就職率 2.5% 【平成 25 年 4 月 1 日現在】
	高等学校卒業後の進路 就職率 42.3% 【平成 27 年 4 月 1 日現在】	高等学校卒業後の進路 就職率 46.1% 【平成 25 年 4 月 1 日現在】
児童養護施設の子供の中学校卒業後の進路進学率	97.6% 高等学校等 93.0% 専修学校等 4.6% 【平成 26 年度末現在】	96.6% 高等学校等 94.8% 専修学校等 1.8% 【平成 25 年 5 月 1 日現在】
児童養護施設の子供の中学校卒業後の就職率	2.3% 【平成 26 年度末現在】	2.1% 【平成 25 年 5 月 1 日現在】
児童養護施設の子供の高等学校卒業後の進路進学率	22.2% 大学等 5.5% 専修学校等 16.6% 【平成 26 年度末現在】	22.6% 大学等 12.3% 専修学校等 10.3% 【平成 25 年 5 月 1 日現在】
児童養護施設の子供の高等学校等卒業後の就職率	63.8% 【平成 26 年度末現在】	69.8% 【平成 25 年 5 月 1 日現在】
児童扶養手当の受給資格者数と児童数	受給資格者数 23,251 人 支給対象児童数 30,595 人 【平成 26 年度】	—
スクールソーシャルワーカーの配置人数及びスクールカウンセラーの配置率	スクールソーシャルワーカーの配置人数 18 人 【平成 27 年度】	スクールソーシャルワーカーの配置人数 1,008 人 【平成 25 年度】
	スクールカウンセラーの配置率 (小学校 341 校) 100% 【平成 27 年度】	スクールカウンセラーの配置率 (小学校) 37.6% 【平成 24 年度】
	スクールカウンセラーの配置率 (中学校 146 校) 100% 【平成 27 年度】	スクールカウンセラーの配置率 (中学校) 82.4% 【平成 24 年度】

指標	横浜市	全国
ひとり親家庭の子供の就園率（保育所・幼稚園）	—	72.3% 【平成23年度】
ひとり親家庭の子供の進学率及び就職率	—	中学校卒業後の進路 進学率 93.9% 高等学校等 92.8% 専修学校等 1.1% 【平成23年度】
	—	中学校卒業後の就職率 0.8% 【平成23年度】
	—	高等学校卒業後の進路 進学率 41.6% 大学等 23.9% 専修学校等 17.8% 【平成23年度】
	—	高等学校卒業後の進路 就職率 33.0% 【平成23年度】
就学援助制度に関する周知状況	全小中学校に制度を書面で周知し、保護者に対しては入学時、進級時に学校で就学援助制度の書類を配付	毎年度の進級時に学校で就学援助制度の書類を配付している市町村 61.9% 【平成25年度現在】
	教育委員会のウェブサイト、広報等に制度を掲載	入学時に学校で就学援助制度の書類を配付している市町村 61.0% 【平成25年度現在】
日本学生支援機構の奨学金の貸与基準を満たす希望者のうち、奨学金の貸与を認められた者の割合	—	無利子 予約採用段階 40.0% 在学採用段階 100.0% 【平成25年度実績】
	—	有利子 予約採用段階 100.0% 在学採用段階 100.0% 【平成25年度実績】
ひとり親家庭の親の就業率	母子家庭の就業率 84.7% 正社員 41.9% パート・アルバイト 38.6% 【平成24年度】	母子家庭の就業率 80.6% 正規の職員・従業員 39.4% パート・アルバイト等 47.4% 【平成23年度】
	父子家庭の就業率 90.5% 正社員 76.3% パート・アルバイト 5.3% 【平成24年度】	父子家庭の就業率 91.3% 正規の職員・従業員 67.2% パート・アルバイト等 8.0% 【平成23年度】
子供の貧困率	—	16.3% 【平成24年】
子供がいる現役世代のうち一人の貧困率	—	54.6% 【平成24年】

横浜市子どもの貧困対策に関する計画

平成28年3月

発行：横浜市こども青少年局企画調整課

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

TEL 045-671-4281 FAX 045-663-8061

Eメール kd-kikaku@city.yokohama.jp

